

今日という日が最後なら、 (2007)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 日本

時間 107分

初公開日 2008/06/28

公開情報 アルゴ・ピクチャーズ

【キャッチコピー】

何をしたいか考えました、
大切な人と今を生きたくて。

【解説】

八丈島を舞台に、双子の姉妹の葛藤と心の成長を綴る青春映画。監督はこれが長編デビューの柳明菜。八丈島に生まれた双子の姉妹、舞子と聖子。やがて母親は、身体の弱い舞子を祖母のもとに残し、聖子だけを連れて島を出て行く。それから20年後、八丈島で自由奔放に育った舞子は、島を盛り上げようと“八丈祭”を企画し、準備に奔走する。しかし祭りの直前、舞子は“今日という日が最後なら、何をしたいか考えました”という書き置きを残し、聖子を捜して東京へと向かう。やがて、聖子と再会した舞子は、聖子が心を閉ざして生きていることを知り、彼女を連れて八丈島へと戻ってくるのだったが…。

【クレジット】

監督	柳明菜		
プロデュース	辻井一郎		
	松谷健史		
	岡田恒明		
脚本	柳明菜		
脚本監修	いしかわ彰		
撮影	岩松茂		
編集	柳明菜		
音楽	伊豆一彦		
エンディングテーマ	サンプラザ中野くん Sampuraza Nakano Kun		『Lppozu-tsu』
照明	原春男		
録音	辻井一郎		
出演	森口彩乃	聖子	
	柳裕美	舞子	
	清水増子	おばば	
	岡田真由子	織田ゆうこ	
	本多章一	ヒロ	
	真鍋敏宏	織田修司	
	遠藤るか	織田玲菜	
	藤谷文子	Ayako Fujitani	かおる